

## 令和2年度

# 鹿児島県立奄美図書館運営に関する点検及び評価結果

当館が策定している基本的運営方針を踏まえ、令和2年度に重点的に取り組んだ事項と関連する指標についての評価を実施し、その結果に基づき運営の改善を図ります。

### 【鹿児島県立奄美図書館の目指す姿】

人づくりに貢献し、成長し続ける図書館 ～支える・役立つ・つなぐ・育む～

### 【基本目標、重点取組事項】

#### <基本目標1>

鹿児島県立奄美図書館は、県内の公共図書館（室）が多様なサービスを提供できるよう、ネットワークの構築や研究・研修の充実等に努めることにより、県民の読書活動を「支える」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 市町村図書館支援の充実
- 2 ネットワークの構築
- 3 図書館運営研究の拠点
- 4 図書館協議会等の充実

#### <基本目標2>

鹿児島県立奄美図書館は、県の情報拠点として、県民や地域の課題解決支援が図れるよう、多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより、県民に「役立つ」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 利用者に対応したサービスの充実
- 2 課題解決支援・学習支援の充実
- 3 郷土資料（地域資料）の網羅的な収集とデジタル化
- 4 図書館資料の計画的な整備

#### <基本目標3>

鹿児島県立奄美図書館は、県民が新たな知を創出できるよう、居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら、知識や知恵、情報の交流の場づくりに努めることにより、人と人、人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 場と人とをつなぐ環境づくり
- 2 人と人とをつなぐ環境づくり
- 3 情報と人とをつなぐ環境づくり

#### <基本目標4>

鹿児島県立奄美図書館は、県民の読書活動を積極的に推進するとともに、郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

#### <重点取組事項>

- 1 子供読書活動の推進
- 2 大人読書活動の推進
- 3 郷土の人・文化の理解と継承

### 【評価基準】

評価	内容
A	非常に良好 : 計画どおりに実施でき、大きな成果がみられた。
B	良好 : 計画どおりに実施できた。
C	やや不十分 : 概ね計画どおりに実施できたが、一部が実施できなかった。
D	不十分 : 計画どおりに実施できなかった。



## 基本目標 1 『支える』

鹿児島県立奄美図書館は県内の公共図書館（室）が多様なサービスを提供できるよう、ネットワークの構築や研究・研修の充実等に努めることにより、県民の読書活動を「支える」図書館を目指します。

### 1 令和2年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計 画	実 績	
1	市町村図書館支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の共有化を行うとともに連携を密にし、利用者サービスの向上を図る。</li> <li>貸出文庫により、市町村立図書館をとおして県民への図書の貸出を行う。</li> <li>図書館ポータルサイトを活用し、相互貸借の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館協会や読書推進協議会の場を活用して連携が図られた。</li> <li>新たに児童クラブを貸出の対象としたこともあり、前年度を177冊上回る利用実績となった。</li> <li>臨時休館期間もあったが、前年度とほぼ同程度の利用があった。</li> </ul>	B
2	ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村立図書館（室）における利用者サービスの向上を促進する。</li> <li>図書館情報システムの適切な運用管理を行うとともに、セキュリティ対策の強化を行う。また、図書館情報システムを活用したサービスの利用促進を図るため、横断検索システムへの参加・利用促進を図るとともに、ホームページの情報更新に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため県立図書館はもちろん各市町村立図書館でも休館が相次いだことにより、居住地返却が減少するなどの影響があった。</li> <li>横断検索システムの参加自治体数は目標値の32市町村に対し、令和元年度同様の31市町村であったが、声かけにより参加意向を示す自治体もあったため、参加館の設備整備・経費面の準備を注視しながら参加を働きかけていく。</li> </ul>	C
3	図書館運営研究の拠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館講座等をとおして、図書館職員の資質向上を図る。</li> <li>公立図書館（室）、学校図書館を訪問し、指導助言を行うとともに、来館研修や図書館司書実習を受け入れるなど、市町村や各種団体等の支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館講座では「読み聞かせ」について講義・実演を行い充実した研修が行えた。</li> <li>公立図書館（室）や学校図書館の優れた取組を評価するとともに、地域の実態に応じた課題の解決に向けた意見交換を行った。</li> </ul>	C
4	図書館協議会等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>大島地区内の公立図書館（室）職員からの意見・要望を参考にし、図書館運営や利用者サービスの改善・向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡会議を開催し、主催事業の実施状況について説明した。また、相互貸借のルールや中・高等学校との連携等について協議することができた。</li> </ul>	B

### 2 各種指標の達成状況

#### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「県民一人当たりの貸出冊数」	3. 38冊	3. 28冊	97%
2	「市町村満足度」	—%	86%	—%

#### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	図書館等への貸出冊数	1,000冊	949冊	94.9%
2	居住地返却の冊数	40冊	31冊	77.5%
3	横断検索への接続市町村数	32市町村	31市町村	96.9%
4	講座等への参加者数	50人	17人	34.0%
5	「大島地区図書館協議会」の参加者数	30人	30人	100.0%

### 3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会の中止や参加者数の制限を行ったことで、図書館職員に対する研修などが実施出来なかった。また、県民ひとり当たりの貸出冊数の目標値にもわずかながら達しなかった。そのような状況の中、貸出文庫については、前年度よりも177冊増加しており、アンケートによる満足度も高かったことから、市町村への支援がなされたと考える。

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、研修や訪問により図書館職員の資質向上に努めるとともに、横断検索システムの参加・利用促進を図り、また、更なる図書の貸出をすることで、市町村立図書館（室）への支援の充実を図りたい。

## 基本目標 2 『役立つ』

鹿児島県立奄美図書館は、県の情報拠点として、県民や地域の課題解決支援が図れるよう、多様化・高度化する県民のニーズに応える資料の収集・保存や情報提供等に努めることにより、県民に「役立つ」図書館を目指します。

### 1 令和2年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計 画	実 績	
1	利用者に対応したサービスの充実	・閲覧・貸出など利用しやすい環境整備とともに、様々な利用者サービスの向上に努める。	・視覚障害者及び文字を読むことが困難な利用者のため、大型活字本を購入するなど環境整備を図った。	B
2	課題解決支援・学習支援の充実	・郷土に関する事項の件名やレファレンス事例の電算入力、パスファインダーの作成等、レファレンスツールの充実に努める。 ・課題解決支援コーナーの充実を図る。	・過去のレファレンスの掘り起こしを行うことで電算入力件数を増やした。また、パスファインダーの改訂を行った。 ・課題解決支援コーナー4分野の資料収集、配架の工夫を行い、充実を図った。	B
3	郷土資料（地域資料）の網羅的な収集とデジタル化	・郷土の文化遺産として永く後世に伝えていくために網羅的で積極的な郷土資料の収集を行い、そのために各関係機関との連携を図り協力を依頼する。 ・郷土資料の保存と活用のため郷土新聞のデジタル化を進める。	・各機関と連携し、県行政資料や市町村発行資料など図書以外の収集も積極的に努め、郷土新聞のデジタル化も計画的に行った。 ・郷土新聞のデジタル化については8本作成したが、年度内に受け入れなかったため、令和3年度に計上することとする。	C
4	図書館資料の計画的な整備	・利用者の生涯学習に役立つ資料を幅広く収集するとともに、海音寺潮五郎文庫や雑誌スポンサーコーナー、障害者サービス資料の充実も図りながら、県民の調査相談に資する図書館、保存図書館としての資料の整備に努める。	・購入、寄贈などによる6,428冊の図書資料の計画的な受入を行い、蔵書冊数の令和2年度目標値を超える239,171冊を達成した。 また、障害者サービスのための大型活字本の購入や雑誌スポンサー制度による雑誌の充実を行い幅広い資料の収集を行った。	B

### 2 各種指標の達成状況

#### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「貸出＋書庫閲覧冊数」	124,000冊	114,998冊	92.7%
2	「利用者満足度」	43%	36%	83.7%

#### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	利用者満足度	—%	36%	—%
2	レファレンス検索データ入力件数	90件	100件	111.1%
3	郷土新聞のマイクロフィルム化	1,214本	1,202本	99.0%
4	蔵書冊数	238,780冊	239,171冊	100.2%

### 3 評価と今後の取組について

障害者サービスのための資料を含め、購入、寄贈の計画的な受入を行い、図書資料の充実を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館等の影響で、貸出＋書庫閲覧冊数目標値には到達せず、レファレンス件数も減少となった。また、貸出冊数を一般・児童合わせて10冊以内の貸出にしたが、利用者満足度についても目標値に達しなかった。  
今後も、郷土資料をはじめ利用者に役立つ資料を幅広く収集するとともに、貴重資料のデジタル化を進めながら、課題解決支援の充実を図っていきたい。

### 基本目標 3 『つなぐ』

鹿児島県立奄美図書館は、県民が新たな知を創出できるよう、居心地の良い空間やコミュニケーション空間の充実を図りながら、知識や知恵、情報の交流の場づくりに努めることにより、人と人、人と情報を「つなぐ」図書館を目指します。

#### 1 令和2年度 of 取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	場と人をつなぐ環境づくり	・ 広報誌やホームページの内容の充実を図り、積極的な情報発信に努めるとともに、県の広報誌等を活用した広報活動を行う。	・ Instagramをスタートさせるとともに、ホームページを一部改め、内容の充実を図った。また、広報誌等を利用した広報活動・情報発信に努めた。	B
2	人と人をつなぐ環境づくり	・ 利用者が多様な他者と交流し、図書館や図書資料を活用してコミュニケーションを楽しむことができるよう、交流イベントを開催する。 ・ 一般県民に館内3か所の研修室を有償（減免規定あり）で貸出を行う。	・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から参加者定員を半数に削減して開催した。 ・ 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、会議室貸出予約のキャンセルが相次ぎ、収入は元年度の6割程度となった。	C
3	情報と人をつなぐ環境づくり	・ 図書館を生涯学習の活動や成果を発表する場として活用するため、ボランティア活動を支援する。 ・ HPやSNSを活用した情報提供や情報交流を推進する。	・ 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、ボランティア活動を制限した期間もあったが、多くの参加者を得ることができた。 ・ Instagramへ最新情報を掲載することに努めたが、フォロワー数は目標値を下回った。	C

#### 2 各種指標の達成状況

##### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「入館者数」	134,000人	108,929人	81.3%
2	「利用者満足度」	—%	48.3%	—%

##### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	利用者満足度	—%	48.3%	—%
2	交流イベント参加者数	—人	112人	—%
3	ボランティア活動者数	100人	246人	246.0%
4	HPのリンク数	5種類	5種類	100.0%
5	SNSフォロワー数	40人	13人	32.5%

#### 3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館等の影響で、入館者数が目標値を下回ったが、ボランティア活動者数は増加し交流イベントも実施できた。そのような状況の中、Instagramをスタートするなど、より良い環境づくりを図ることができた。

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、魅力ある交流イベントの実施に努めるとともに、更に利用環境の充実を図っていきたい。

## 基本目標 4 『育む』

鹿児島県立奄美図書館は、県民の読書活動を積極的に推進するとともに、郷土の人や歴史等への理解を深める場の提供に努めることにより、県民が生涯にわたって読書に親しみ、郷土に学ぶ心を「育む」図書館を目指します。

### 1 令和2年度の取組について

	重点施策	取組状況		評価
		計画	実績	
1	子供読書活動の推進	・読書指導者研修会等を開催し、学校や家庭、地域における読書活動の輪を広げる。併せて、各種講座や講師派遣の中で、子供読書推進についての周知を図る。	・感染症拡大防止のため、読書指導者研修会は中止となったが、各種講座や講師派遣の際に、子供読書活動の重要性と意義、具体的な進め方について周知を図った。	C
2	大人読書活動の推進	・65歳以上を対象にした音読教室を開催することで、仲間作りの場として、図書館をより積極的に活用されるきっかけとする。	・感染症拡大防止のため、1回目が中止となったが、他の回では定員を超える申込みがあり、「音読の楽しさを味わえた」等の好意的な感想が多かった。	C
3	郷土の人・文化の理解と継承	島尾敏雄記念室企画展、講演会、郷土コーナー企画展やあまみならでは学舎を開催し、県民の生涯学習の一助とするとともに、図書館利用の促進につなげる。また、広報活動として広報誌やホームページの充実を図り、報道機関への情報提供を行う。	各企画展及び講演会ともに好評を得た。今後も県民の郷土への興味や理解を促すような展示や講演会・広報活動を継続していく。	C

### 2 各種指標の達成状況

#### (1) 主要指標

	主要指標	目標値	実績値	達成割合
1	「研修会等の参加者数」	520人	477人	91.7%
2	「受講者満足度」	82.0%	91.9%	112.1%

#### (2) 参考指標

	参考指標	目標値	実績値	達成割合
1	講座等参加者数	102人	一人	-%
2	大人向けイベントの回数	6回	5回	83.3%
3	講演会や企画展の参加者数	418人	477人	114.1%

### 3 評価と今後の取組について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、読書指導者研修会を中止し、その他の講演会や講座の定員を削減した結果、研修会等の参加者数は目標値を下回った。一方、大人への読書活動については推進することができた。また、奄美ならではの学舎における受講者満足度が非常に高かった。

今後は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら、研修会等を実施し、読書活動の推進を図っていきたい。